

今月の株式市場見通し

米連邦準備理事会（FRB）は2月18日、公定歩合を0.5%→0.75%に約3年8ヶ月ぶりに引き上げました。上げ幅は0.25%と小幅でFFレートは据え置かれていましたが、タイミング的には大きなサプライズとなった事で、対主要通貨でのドル高に繋がっています。この事は、予測された「異常な金融政策の常態化（出口戦略）」を目指すもので、「緩やかなドル高傾向を目指す」という弊社2010年の通しに沿うものとなっており、また昨年以降のドル安修正の一旦とも言えますので、このための株価調整は、一時的なものと考えております。

日本株式も米FRBの利上げによるマネーの流動性減少「懸念」を背景に下落しましたが、TOPIXは依然として、年初来で世界の株式市場をアウトパフォームしています。東証一部上場企業の第3四半期決算では、金融を除くベースでの減収率で前年同期比8.5%と前四半期より縮小し、ほぼV字の回復を遂げており、また経常利益は利益率好転により大きく改善し（同237.4%増）その水準は収益悪化前の08年第2四半期経常利益の8割強まで回復しております。このように業績拡大は現状も続いていると推測されるにも関わらず、決算発表後の第4四半期予想の水準が第3四半期の水準を下回っており、現在の為替水準を含め、5月の本決算までに更なる上方修正が発表されるのではないかと予想されております。

従いまして、株式市場は、既に開始されている新興国、そして米国の流動性供給政策の変更（所謂、出口戦略）の度合いを窺つつも（金融相場の終了時期）、景気の回復度合い並びに企業業績の上方修正幅を読み込んでいく展開となることが予想され、日経平均株価は3月末から4月中旬にかけて年初来高値に近づく可能性があるものと考えております。

株 練 場

2010年
3月号

西村証券

本店営業部

TEL075-221-9390

株練場コラム

今年の大河ドラマ「龍馬伝」の視聴率が好調のようです。「主役＝坂本龍馬」「時代＝幕末」というジャンルに「主演＝若者を中心に人気の福山雅治さん」という要素が加わったことで、このテレビドラマはスタート前から話題となっていました。「龍馬伝」の好調を映してか、歴史小説では定番といえる司馬遼太郎さん著「竜馬がゆく」も文庫本が売れ行きを伸ばしているそうです。政治・経済の両面で先行きが見えにくく混沌としている今の時期だからこそ、私利私欲にとらわれず純粋に日本の将来を憂い行動した龍馬をはじめとする幕末の志士たちのような気概を持つリーダーが待望され、ドラマの高視聴率、小説の売れ行き好調にもつながっている、といえるのではないのでしょうか。

龍馬の生まれ故郷である高知や、日本初の株式会社ともいわれる亀山社中の設立された長崎がドラマの主な舞台となるようですが、この京都も高知や長崎に引けを取らない、龍馬が活躍した地であり、「龍馬伝」人気の波及効果による観光客増にも期待がかかっているようです。「龍馬ゆかりの場所」としては、龍馬が長く身を置いた寺田屋や、龍馬が三十三年の生涯を閉じた近江屋はあまりにも有名ですが、ほかにも、寺田屋での襲撃から逃れた薩摩藩伏見屋敷跡（京都市伏見区。以下も同市内）をはじめ、土佐藩邸跡、長州藩邸跡（以上、中京区）、薩摩藩邸跡（上京区）、妻お龍との「結婚式場」跡（東山区）など（順不同）。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.

〒600-8007 京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号 加入協会：日本証券業協会 主な事業：金融商品取引業

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮下さい。